

## メディアを活用することで 遊びがどのように広がるのでしょうか。

保育でのメディア活用は、メディアを利用して遊ぶイメージが強くありませんか？  
例えば、子どもがパソコンでお絵描きする場面では、画用紙だと一度描いた内容は消すことはできませんが、パソコンではやり直しができ、多彩な色合いでの表現が可能です。そのため、子どもは何度も描いて消してを繰り返します。まさしくメディアで遊ぶイメージです。

### メディアで子どもの遊びを広げます

しかし、保育でのメディア活用はメディアで遊ぶだけではなく、子どもの遊びを広げるためにメディアを活用している例がたくさんあります。パソコンで絵を描く時でも、保育者から教わったことだけでなく、子ども同士で試行錯誤して遊ぶ中で、新たな操作に気づき、教わった内容以外のことをたくさん発見していきます。

また、日本のお伽話「一寸法師」の映像を見せて、子どもたちに劇遊びのイメージをふくらませたりできます。

### デジタルカメラで遊びを広げます

園外保育や園内行事で子ども自身が遊ぶ姿や活動している様子をデジタルカメラで撮影しておき、後で子どもたちと一緒に見ることで、自分の体験を振り返り、さらなる興味・関心に繋がります。

### メディア活用で子どもの遊びを広げるための注意点

このように、保育でのメディア活用は子どもとメディアの1対1の関係ではなくメディアでの遊びを通して知り得た内容が子どもの中で広まり共有され、次の遊びを見つけ出すきっかけになっています。逆に言うと子どもがメディアと1対1で遊んでいる時間が長い活動では、保育者が何をねらいとしているのかを再考すべきかもしれません。メディアでの遊びから次の新たな遊びが創造できるような指導計画を考えてみましょう。



幼稚園教育要領 第2章 ねらい及び内容 「環境」 1 ねらい

(2)身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。

保育所保育指針 第3章 保育の内容 1 保育のねらい及び内容

表現(イ)⑥ 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりする。